
[成果情報名] 大豆新品種「ちくしB5号」の高収量で倒伏の少ない播種時期と播種密度

[要約] 大豆新品種「ちくしB5号」の収量が高位に安定する播種時期は6月中旬～7月中旬である。適正播種密度は、条間を70cmとした場合、6月中旬播では4.5株/m²、7月上旬播では5.7～7.1株/m²、7月中旬播では7.1～9.5株/m²である。7月下旬播では、播種密度を14.3株/m²とすると収量が向上する。

[キーワード] 大豆、ちくしB5号、多収、播種時期、播種密度

[担当部署] 筑後分場；水田高度利用チーム、豊前分場；野菜水田作チーム、農産部；大豆・品質チーム

[連絡先] 0944-32-1029

[対象項目] 大豆

[専門項目] 栽培

[成果分類] 技術改良

[背景・ねらい]

福岡県で育成した大豆新品種「ちくしB5号」は、「フクユタカ」に比べて早播適性があり、多収である。今後、「ちくしB5号」の普及を推進するためには、本品種の特性に応じた栽培技術の確立が重要である。そこで、「ちくしB5号」の多収・安定生産のための最適な播種適期、播種密度を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 6月中旬～7月下旬播では、「ちくしB5号」は「フクユタカ」に比べて倒伏程度が小さい。収量が高位に安定するとともに、後作麦類の播種作業が遅延しない播種時期は6月中旬～7月中旬である。7月下旬に播種した場合、7月中旬播に比べ、成熟期が5～7日遅れる（表1）。
2. 条間を70cmとし1株2粒播とした場合、収量が高位に安定し、倒伏程度の小さい播種密度は、6月中旬播では4.5株/m²（株間30cm）、7月上旬播では5.7～7.1株/m²（株間25～20cm）、7月中旬播では7.1～9.5株/m²（株間20～15cm）である（図1）。また、6月中旬～7月中旬播ではいずれの時期も播種密度による収量の差はみられない。
3. 7月下旬播では、14.3株/m²（株間10cm）は9.5株/m²（株間15cm）に比べ収量が多く、密播による増収効果が高い（図1）。

[成果の活用面・留意点]

「ちくしB5号」栽培マニュアルに登載し、高品質安定生産のための技術資料として活用する。

[具体的データ]

表 1 播種時期別の生育・収量（平成28、29年平均）

場所	播種時期 月. 日	品種名	播種密度 株/m ² (cm)	開花期 月. 日	成熟期 月. 日	主茎長 cm	倒伏程度	青立ち程度 (成熟期)	百粒重 g	子実重 kg/a	収量比 %	検査等級
農産部	6.15	ちくしB5号	4.5(30)	8.07	10.30	70	1.7	0	30.5	32.2	111	2.7
		フクユタカ	4.5(30)	8.06	11.01	74	2.9	0.3	28.2	28.8	99	2.9
	7.10~14	ちくしB5号	7.1(20)	8.21	11.05	69	0.5	0	30.9	32.1	111	2.8
		フクユタカ	7.1(20)	8.20	11.07	72	1.3	0.2	28.6	29.0	(100)	2.7
	7.24~25	ちくしB5号	9.5(15)	8.30	11.10	53	0.5	0.3	31.4	32.7	113	2.4
		フクユタカ	9.5(15)	8.29	11.11	61	1.0	0.4	29.4	31.0	107	2.8
筑後分場	7.3~5	ちくしB5号	5.7(25)	8.20	10.31	53	0.1	0.2	25.5	34.7	106	2.1
		フクユタカ	5.7(25)	8.19	11.01	53	1.4	0.2	24.5	34.1	104	2.3
	7.14~19	ちくしB5号	7.1(20)	8.25	11.03	59	0	0.4	26.5	34.1	104	2.0
		フクユタカ	7.1(20)	8.24	11.04	60	1.3	0.5	25.2	32.7	(100)	2.1
	7.27~28	ちくしB5号	9.5(15)	9.05	11.10	50	0.5	1.0	26.8	29.6	91	2.2

- 注) 1. いずれの播種時期、播種密度も条間は70cm。播種密度の()内は株間。1株2本立て。
 2. 倒伏程度、青立ちは0(無)~5(甚)の6段階評価。
 3. 百粒重、子実重は5.5mm以上の子実の数値。
 4. 収量比は各場所において7月中旬播の「フクユタカ」を100とした数値。
 5. 検査等級は大粒と中粒の平均値で1(1等上)~6(2等下)で示す。

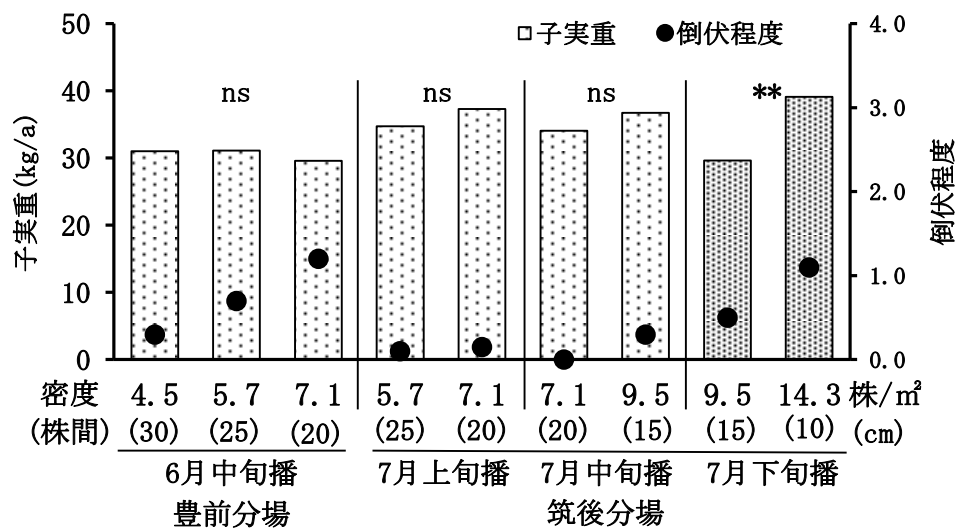


図 1 「ちくしB5号」の播種時期別の播種密度と子実重（平成28、29年平均）

- 注) 1. 横軸の数値は播種密度で1株2本立。条間は全て70cm。下段の()内は株間。
 2. 播種日は、6月中旬播は6月17日、6月19日(平成28、29年、以下同じ)。
 7月上旬播は7月5日、7月3日、7月中旬播は7月19日、7月14日、7月下旬播は7月27日、7月28日。
 3. 播種時期ごとにnsは有意差なし、**は1%水準で有意差あり。

[その他]

研究課題名：大豆新品種「ちくしB5号」の高品質・安定栽培技術の確立

予算区分：経常

研究期間：平成29年度（平成28~29年）

研究担当者：石塚明子、谷口健太郎、内川 修、岩渕哲也、大野礼成、佐藤大和